

# 三矢の訓

令和5年7月18日 発行



## いよいよ夏休み！ (7/20 ~ 8/28)

7/19(水)が、1学期の終業式です。子どもたちの楽しみにしている夏休みがやってきます。今年の夏休みは、8/28(月)までの40日間です。この夏休みを、1学期に学んだことの定着(忘れないようにすること、磨きをかけること)や活用(使ってみること)の機会、長期の休みだからこそできる体験や学びの機会として、有意義な休みにしてほしいと思っています。



6/7~8 4年生 山の学校

 夏休みの意味を考えてみましょう。 

### I インターバル(幕間の時間)<sup>まくあい</sup>

4月から新しいことをどんどん学んできました。そして2学期には、また新たなことを学びます。間に休みがなければ、新しいことが入ってくるばかりで、混乱してしまいそうです。夏休みがあるから、一呼吸おいて、2学期にまた学び出せます。

夏休みは、一呼吸おく機会と捉えるといいのではないのでしょうか。

学校から出される宿題やワークなども、一呼吸おいて「習ったことを定着させるための機会」と考えて取り組むと、「すませればいいや」で終わらず、次へのステップにもつながるでしょう。取りかかる期間を工夫したり、取り組む内容を加えたりもできそうです。



6/16

お話ボランティア 復活！

### II 40日間(長い時間)

学校は、学習をしたりお友達と会ったりして、様々な情報が飛び交う場です。一方、夏休みは、自分の時間、一人の時間が増え、じっくり考えたり過ごしたりすることのできる機会と捉えることができます。学校という情報過多の場所から離れ、退屈で時間を持て余すような経験も、長期の休みにしかできません。(せっかく与えられた一人の時間を、インターネットの動画やゲーム、SNSなど(情報が飛び交う場)に取られるのも、もったいない気がします。)退屈に過ごせる時間、好きなことに熱中できる時間、家事に取り組む時間としても夏休みを見直してみたいものです。



6/17

土曜参観 避難訓練

好きな生き物や興味ある文化的なことなどの研  
裏もあります

究、長い本やテーマを決めた読書、体づくり、料理や手芸、芸術、家の仕事（手伝い、役割など）にじっくり取り組んだり、継続的に取り組んだりするよい機会と捉えることもできます。

40日間という長い時間を上手に使い、自分で生活をつくっていくという経験も、夏休みだからこそできることです。

学年(発達の様子)や経験に合わせて、次第に自分で計画・実行できるようになることを目指すとよいでしょう。

長い夏休みの有意義な過ごし方(計画)を、ぜひ家族で、楽しみながら話し合ってみてください。



## 夏休みの計画の立て方 ヒント！

### 夏休みをいくつかの期間に分けて考える

長い休みに取り組むこと(研究、読書、手伝いなど)を決めていても、40日間続けるのは難しいものです。また、夏休みはあっという間に過ぎてしまうのもご存じの通りです。そこで、夏休みをいくつかに分けて考えることをお勧めします。

夏休みを「前半・後半」に分けたり、3つに分けて「前・中・後」で考えたり、1週間ごとに計画を立てたりすることもできます。特に最後の1週間は生活のリズムを戻すために重要です。

早寝早起きの生活習慣を家族で取り戻しておくことが大事です。

(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
7月16日	7月17日	7月18日	7月19日 1学期	7/20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	8/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	8月29日 2学期	8月30日	8月31日	9月1日	9月2日

## わが子 よその子 の 別なく声かけを

夏休みは、子どもたちが地域で過ごすことが増えます。子どもの姿を目にすることが増えるでしょう。見かけたら、わが子よその子の別なく、声をかけてやってください。

子どもにとっては毎日が、「自立」に向けての成長途中です。善い行いだけでなく、好ましくない行いをしたとしても当然です。危ない場面もあるかもしれません。

善い行いを見たら、気恥ずかしいかもしれませんが「いいですね」と声をかけたり、好ましくない行いや危ない場面などを見かけたら「交通ルールを守りましょうね」「声が大きすぎませんか」「遊び方は大丈夫?」「一人で大丈夫?」などと声をかけたりしてみてください。必ずしも、子どもが行動を改めるまで言い続けなくてもかまいません。子どもから、特に反応がなくてもかまいません。声をかけることが大切です。放っておくのが一番かわいそうなことです。善い行いも、好ましくない行いも。わが子も、よその子も。